

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「お一人おひとりの思いに寄り添う」という基本理念を明確に掲げ、その理念に基づいて基本方針を整理している。職員には「職員必携」の配布や職員会議での説明を通して理念の共有が図られており、日々のケア実践で理念を意識しやすい体制が整っている。また、利用者や家族に対しても、ホームページやパンフレット、施設内掲示、契約時の説明等、多様な方法で理念と方針を分かりやすく伝えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>障害福祉の動向は、毎月の経営会議で利用率や収支を分析し課題を共有することで把握している。地域の福祉ニーズについても関係機関と連携して情報収集に努めている。また、利用者状況や施設の経営状況を継続的に分析し、適正な経営管理に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>経営会議において、福祉動向や地域ニーズ、利用者状況、財務・経営状況を分析し、利用人数の推移や障がい特性の多様化、人材確保、職員教育、職場環境整備、キャリアパス、施設整備、継続経営等、全般にわたる課題を明確にし、改善に向けた取り組みを計画的に進めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人の中・長期計画として5カ年計画を策定し、中・長期ビジョンを明確に示している。計画には、施設運営全般にわたる具体的な内容が盛り込まれており、将来を見据えた組織運営を進めようとする姿勢がうかがえる。</p>		
改善できる点/改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期経営計画に基づき、サービス提供管理要綱の内容に沿って、各年度の事業計画を策定している。事業計画には施設の基本方針が明確に示されており、実行可能な予算を伴った計画として位置付けられている</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事業計画は、各部署から職員の意見を聴取し、部署内の会議等で検討し、策定や見直しを行っており、組織的に取り組む体制が整っている。また、策定した計画については、各種会議で説明を行うことで職員への周知を図っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用者等への周知については、利用者には陽光会（利用者自治会）の全体会で説明を行い、家族には家族会総会の場で事業計画を伝えている。総会に参加できなかった家族には、事業計画を郵送することで情報提供を行っている。また、全体会がない月には、男女それぞれのフロアで実施するフロア別会議で利用者の要望を聞き取り、事業計画に反映させている。さらに、ホームページでは経営計画、事業計画、事業報告、財務諸表等を公開しており、透明性のある情報発信に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>サービスの質の向上に向けて、各種委員会を設置し、PDCAサイクルに基づいた継続的な取り組みを進めている。施設経営委員会（年2回）においては、運営状況や課題について評価を行い、改善に向けた方策を検討している。また、5年に1度、岐阜県福祉サービス第三者評価を受審し、外部の視点から施設運営の妥当性や質の向上に向けた取り組みを確認している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果や施設経営委員会での評価を踏まえ、課題解決に向けて経営会議をはじめとする各種会議において課題の洗い出しと改善策の検討を行っている。経営会議で議論された内容は各部署の会議を通じて職員へ周知され、さらに検討が必要な課題については、内容に応じて適切な委員会等で取り上げられ、改善策の具体化に向けた協議が進められている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事務分掌表において管理者や各職員の役割を明確にし、紙面で全職員に配布している。また、データでも閲覧できるようにしており、必要なときに誰でも確認できる体制を整えている。有事における管理者不在時の権限委任についても、マニュアルに定め、データとして共有するとともに、各部署にも配布して周知している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 事業運営を取り巻く関係法令に関する各種研修に参加し、復命研修等を通して職員への周知を図っている。また、コンプライアンスマニュアルを全職員に書面で配布し、年度当初の職員会議において内容の説明を行う等、職員のコンプライアンス意識の向上に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 基本方針にある「福祉サービスの質の向上」の具体的な実践のため、園長は日常的な業務の中で職員の意見聴取に努めている。また、毎月の経営会議においてサービスの提供状況や課題について情報共有し、施設運営に反映させている。さらに、定期的に面談を行い、業務に関する助言や指導に取り組む等、サービスの質の向上に向けて積極的に指導力を発揮している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 人事労務や財務等の現状分析については、法人による組織的な仕組みが確立している。経営成績及び財政状態については、毎月法人で分析を行っており、業務の効率化についても職員会議や経営会議等で検討している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 人事の裁量権は法人本部にあるが、施設として必要な人員や求める職種・人員体制については適宜法人本部へ伝えている。また、幅広く求人チャネルを拡充する等、人材確保に向けた取り組みを進めている。さらに、チューター制度を活用したOJTの充実、資格取得の奨励や相談体制の整備等、職員が安心して働き続けられるよう定着支援の取り組みも強化している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 人事考課については、法人で客観的な人事考課基準を整備し、期首の目標設定、期中のフィードバック面談、期末評価と連動した総合的な人事管理を行っている。また、フィードバック面接を通じて、職員一人ひとりが自身に求められている役割を意識できるよう支援している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 勤怠システムを活用して有給休暇の取得状況や働き方を確認し、休暇取得の促進や出産・育児休暇の充実等、職員が働きやすい環境づくりに努めている。また、福利厚生センターや共済会への加入に加え、健康診断や相談窓口の設置等、安心して働ける福利厚生体制を整えている。こうした取り組みが、職員のエンゲージメント向上にもつながっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 目標管理を制度としては導入していないものの、期首の目標設定、期中のフィードバック面談、期末評価という一連のプロセスを通してPDC Aサイクルを回し、職員一人ひとりの育成につながる取組を進めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 外部研修や園内研修、OJT、チューター制度等、多様な研修体制を整備し、計画的に研修を実施している。研修計画に基づき毎月職員研修を行い、職員の資質向上に努めている。また、研修内容を動画として保存し、参加できなかった職員が後日視聴できるようにする等、学習機会を確保するための体制も整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 新人向け研修やチューター制度の実施に加え、職員一人ひとりの業務に着目したOJT研修、職位</p>		

<p>に応じた階層別研修、テーマ別研修等、多様な研修を計画的に実施している。また、ZOOM研修を取り入れる等、職員の研修機会を確保・充実させるための取り組みも進めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 実習生は積極的に受け入れており、実習生受け入れマニュアルを整備した上で、養成校と連携しながら受け入れを行っている。受け入れにあたっては、実習オリエンテーションやカンファレンス、振り返りの実施等を通して、計画的な指導体制を整えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	<p>Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： ホームページにおいて、施設概要や園内の行事・日常の様子を写真と説明文で紹介するとともに、サービス内容、事業計画、事業報告、財務状況報告等、事業運営に関わる情報を幅広く公開する等して、運営の透明性の確保に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
22	<p>Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 法人において経理規程等を整備し、事務・経理・取引に関する手続きを明確にルール化している。また、法人独自の内部監査を実施するとともに、公認会計士（監査法人）による外部監査を受ける等、適正な運営の確保に向けた取り組みを進めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>		
23	<p>Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p>		

<p>基本方針で『地域と共に歩む「開かれた施設」』を明記し、社会福祉協議会との連携や地域イベントへの参加を続けている。また、買い物支援では外出の再開や移動販売の活用、園内での販売等を行い、地域とのつながりを広げる取り組みを進めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
24	<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点： ボランティアを積極的に受け入れており、受け入れマニュアルを整備した上で、環境整備や利用者との交流等について年間計画を立てて来園を調整し、利用者や職員へ周知し、受け入れ体制を整えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	a・Ⓑ・c
<p>良い点／工夫されている点： 地域に開かれた施設として、地域を巻き込んだ関係団体とのネットワークづくりに取り組んでいる。年2回の施設経営委員会には市社会福祉協議会会長を委員として招き、社会資源に関する情報交換を行ったり、地域で開催されるケース検討会議に参加し、幅広く情報交換を行ったりする等して、関係機関・団体との連携強化に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 地域の社会資源については、障がい者福祉の手引き等の冊子や、職員が個々にまとめたデータを活用しているものの、施設独自のリスト作成についてはまだ途上であり、今後の課題となっている。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 地域の福祉ニーズについては、地域で行われる研修や勉強会に積極的に参加し、関係機関・団体との情報交換を通して把握に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
27	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 美濃市・郡上市と福祉避難所の協定を結び、定期的に福祉避難所開設訓練を行っているほか、日中一時支援や短期入所受け入れ等にも取り組んでいる。また、地域に向けた公益的な活動がさらに広がっていくよう取り組みを進めているところであり、今後の展開が期待されている。</p>		

改善できる点／改善方法：

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービスについて共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針に利用者尊重の基本姿勢を明示し、職務行動基準、支援マニュアル、支援計画に利用者尊重の主旨を盛り込んでいる。虐待防止委員会を設置して内部研修を行うとともに、セルフチェックを毎月実施して、振り返りを行う等、不適切なケアの防止に取り組むとともに、虐待防止・権利擁護に関する意識を高めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>倫理綱領や障がい者虐待防止の手引きを全職員に配布し、年度初めの職員会議で内容の説明と確認を行っている。また、毎月の自己チェック・他者チェックを通して職員の振り返りを促し、その結果を虐待防止委員会で確認して組織や個人へフィードバックしている。さらに、年に複数回の研修を実施し、不適切な関わりの防止や権利擁護への意識向上に継続して取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページやパンフレットで施設の内容や取り組みをわかりやすく伝え、見学や体験利用にも丁寧に対応している。サービス利用を希望する方には見学を案内し、入所希望者には日中一時支援や短期入所を利用してもらうことで、不安の軽減に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス開始時には、重要事項説明書やパンフレットを用いて内容や利用方法、費用などを説明し、事前の施設見学と併せて理解を深めてもらっている。サービス内容に変更がある場合も、利用者と家族へ書面や口頭で丁寧に説明し、同意を得ながら進めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>施設の特性や利用者の高齢化・重度化により地域移行は難しい状況にあるが、在宅生活や在宅サービスに関する情報提供を行い、希望がある場合には、サービス管理責任者を中心に関係機関と連携しながら必要な調整を行っている。利用者や家族の相談にも丁寧に対応し、できる限り、生活の場を自由に選べるよう配慮している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎年の満足度調査や月1回のなんでも相談、定期的な利用者会議を通して利用者の声を把握し、改善に活かしている。また、日常のコミュニケーションの中でも意見や要望を汲み上げられるよう努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>苦情解決の体制を整え、担当者や責任者、第三者委員等の相談窓口を重要事項説明書で説明するとともに、園内にも掲示して周知している。また、なんでも相談の場に行きにくい利用者にも配慮し、相談員が男女フロアや各居室を訪問する形で、話しやすい環境づくりに努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>苦情解決の仕組みを掲示して周知を図るとともに、日頃から利用者とのコミュニケーションを大切にし、会話や表情、しぐさから意向をくみ取るよう努めている。担当職員が悩み事の相談に応じるほか、リーダーや次長、園長も男女各フロアや居室を定期的に巡回し、利用者が相談しやすい環境づく</p>		

りに取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>苦情・相談の投函箱を設置するとともに、日々のコミュニケーションを通して利用者の意見を聞き取るよう努めている。寄せられた意見については、内容を踏まえて対応を検討し、利用者へフィードバックする等、相談や意見に組織的かつ迅速に対応できる体制を整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種マニュアルに基づき、危機管理部会で毎月のヒヤリハットや事故報告を集計・分析し、会議を通して全職員に共有し、事故予防に取り組んでいる。また、リスクマネジメント研修を通して職員の意識向上にも努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>看護師を中心に感染症対策マニュアルを整備し、必要に応じて見直しを行いながら、感染症対策BCP計画に基づく定期的な訓練を通して予防に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>災害マニュアルを整備し、BCP計画を策定した上で、備蓄品の確保や防災・避難訓練を実施し、災害時の利用者の安全確保に向けた取り組みを組織的に進めている。また、地域の福祉避難所として災害時の受け入れ体制も整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	

40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： サービス管理システム委員会を設置し、各種規程やマニュアル類を整備している。また、職員必携の配布や職員会議での説明、各種研修を通して職員への周知を進め、支援の質が統一されるよう取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 各種規程、各種マニュアル類の定期的な見直しを実施している。また、各部署での会議の中で検証し、支援方法の定期的な見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 統一した手順と様式を用いてアセスメントを行い、それに基づいて把握された支援ニーズや課題を明確にし、本人・家族の意向を踏まえ、支援目標を具体的に明示し、各職種の参画のもと、個別支援計画を策定している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 個別支援計画は定期的にモニタリングを行い、原則6か月ごとに見直しを実施している。また、利用者の状況に変化があった場合には随時見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 記録様式は統一された形式で標準化されており、業務のICT化を進める中で、法人内で共通の業務支援ソフトを導入している。また、パソコンのネットワーク環境を整備することで、職員間で必要な情報を共有できる体制を整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>記録管理については、保管・保存・廃棄に関する規程を定め、書類は保管庫で厳重に管理するとともに、データはシステム上で適切に管理している。また、個人情報保護や守秘義務に関する規程を整備し、研修等を通して職員の個人情報保護への意識向上に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>個別支援計画の作成にあたり、本人の意向を丁寧に確認し、施設として可能な支援内容を説明しながら希望をすり合わせている。また、家族との意向の相違を確認し、本人の意思が適切に反映されるよう調整している。具体的には、例えば、「長良ふれあいマラソンに参加したい。」という希望を受け、目標達成に向けた支援を計画的に進め、前向きに取り組める環境を整えている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-1-(2) 権利擁護

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	(a)・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>年1回の権利擁護研修や園長による理念・方針の共有を通して、職員全体で権利擁護の視点を徹底している。身体拘束については、身体拘束適正化委員会が中心となり手続きや判断基準を周知し、必要性の検討や家族への早期説明を適切に行っている。また、3要件に該当する場合には家族の理解と同意を得た上で対応し、その後も拘束解除の可能性を継続的に検討している。さらに、外部研修の復命やフロア会議での共有を通して、組織全体で権利擁護の取り組みを広げている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>園のルールを守りつつ、利用者ができる限り自由に生活できるよう配慮し、入所時や年度ごとのアセスメントを基に自立に向けた支援を行っている。ヒヤリハットが発生した際も、行動を制限するのではなく、これまでの生活を維持しながら環境調整によって安全を確保する姿勢を徹底している。また、支援方法を変更する際には日誌と連絡ノートを併用し、迅速で確実な情報共有を図っている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	(a)・b・c

<p>良い点／工夫されている点： タブレットや写真、絵、ホワイトボード、ジェスチャー等、多様なコミュニケーション手段を利用者の状態や要望に応じて柔軟に使い分け、安心して意思を伝えられる環境を整えている。特に、重度の知的障害があり独特の単語表現を用いる利用者には、支援が得意な職員が中心となって「言葉の対応表」を作成し、全職員で共有することで円滑なコミュニケーションを実現している。また、以前は文字盤を使用していた利用者についても、現在はタブレット等を活用する等し、より本人に合った方法で意思表出を支えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 利用者一人ひとりの思いを丁寧に受け止めるため、月1回「ゆとりの時間」を設け、担当職員が30分～1時間、ゆっくり話をしたり、趣味活動を共にする機会を確保している。担当職員が難しい場合には園長・次長・事務職員も対応し、誰もが相談できる体制を整えている。また、月1回のイベントや「陽光祭」「夏祭り」「花見」等の行事を通じて、利用者が楽しみを持てる機会を継続して提供している。イベントの告知は掲示と口頭説明を併用し、誰にでも分かりやすい形で行っている。さらに、利用者と職員が行事を振り返り、高齢化や感染症の影響も踏まえて分析を行う等、より良い活動につなげる取り組みを進めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 個別支援計画に基づき、利用者の興味や状態に応じた日中活動を継続して提供している。コロナ禍以降はオンライン体操を取り入れつつ、音楽療法や紙芝居、茶会等、外部協力者の支援による活動を月1回実施し、限られた人員の中でも余暇活動の機会を確保している。職員減やボランティアの高齢化により活動機会は減少しているものの、規模を調整しながら継続している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 職員は、多様化する障がい特性や高齢化に対応するため外部研修を活用し、専門知識の習得と支援力の向上に努めている。個別支援計画には利用者の障がい特性が適切に反映されており、困難事例についてはチームで検討し、看護師・栄養士・作業療法士等の外部専門家の助言も取り入れながら組織的に対応している。また、褥瘡予防チームの設置等、課題に応じた専門的な支援体制を整え、利用者の障害状況に応じた適切な支援を継続して行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

A-2-(2) 日常的な生活支援

		第三者評価結果
<p>A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>	
<p>良い点／工夫されている点： 個別支援計画に基づき、担当職員が看護師や栄養士等の専門職と連携し、利用者の心身の状況に応じた日常生活支援を行っている。状況に変化があれば計画を適宜見直し、柔軟に対応している。例えば、食事面では、月1回の利用者会議で希望を聞き取り、嚥下機能が低下した利用者にも楽しめる工夫</p>		

<p>を行っている。焼き芋パーティー等、利用者が主体的に生活を楽しむ取り組みも実施している。また、自治会やフロア会議を通じて生活ルールや行事を利用者と職員が共に検討し、生活環境の調整を進めている。</p>
<p>改善できる点/改善方法：</p>

A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
<p>A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>a・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点： 定員が100名から60名となったことで居室にゆとりが生まれ、感染症対策やショートステイ対応、クールダウンスペースの確保等、利用者の希望や状況に応じた柔軟な環境調整が可能となっている。暖房はエアコンと加湿器を中心に、安全性に配慮した機器を使用し、就寝時には電気アンカや電気毛布を活用する等、快適性と安全性を両立した環境づくりを行っている。広い建物で清掃が行き届きにくい点を課題としているが、未使用エリアの閉鎖による光熱費削減や不要物品の整理等、限られた職員体制の中でも改善に取り組む姿勢が見られる。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 男性フロアのトイレのにおいや、夏季に窓周辺へ虫が寄りやすい点が課題として挙げられている。いずれも多く施設で生じやすい問題ではあるものの、利用者の快適性に影響するため、引き続き改善に向けた取り組みが求められている。におい対策として自然由来の消臭方法の活用や、虫の侵入を抑える物理的な対策等、負担の少ない方法を検討しているところであるが、さらなる工夫に向けた取り組みに期待したい。</p>	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
<p>A⑩ A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点： 毎月の作業療法士（OT）による訪問を通じて、個別リハビリの計画立案や相談を行っており、リハビリが有効と判断された利用者には、OTが作成した計画書に基づく個別訓練を実施している。また、トイレでの起立動作や立位保持、入浴時の拘縮予防など、日常生活動作に組み込めるリハビリについては、OTの指導を受けた支援員が日常支援の中で継続して取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
<p>A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点： 看護師と生活支援員が日常的に情報共有を行い、バイタルチェックや排泄状況の記録を通して利用者の健康状態を継続的に把握している。体調に変化があれば囑託医と連携し、速やかに受診につなげる体制も整えている。薬剤情報は整理され、必要時に誰でも確認できるよう適切に管理されている。また、介護職員が外部研修に積極的に参加し、復命研修を通じて医療知識を共有している。感染症や既往症に関する研修も随時実施されており、利用者の健康管理が適切に行われている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
<p>A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>(a)・b・c</p>

<p>良い点／工夫されている点： 内服薬は医務室で一元管理され、セット時・持ち出し時・服用時の三重チェックに加え、服薬時には職員2名で本人と薬包の氏名を照合する等、多重の確認体制を整え、安全性を確保している。排便コントロールについては、利用者ごとに使用薬剤や対応方法を一覧化し、誰でも判断できる仕組みを構築している。また、てんかん発作のある利用者への対応も、医師や看護師の指導のもと職員全員に周知されており、発作時間の計測等の必要な対応が確実に行われている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
<p>A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	a b c
<p>良い点／工夫されている点： 施設では年1回の外出支援を継続し、長時間の外出が難しい利用者には短時間の外出を提案する等、可能な範囲で気分転換の機会を確保している。また、パソコン操作支援については日常業務の多忙さから十分に対応できていない点が課題として挙げられているものの、利用者からは「職員と一緒に操作してくれて助かっている」との声があり、実際には丁寧なサポートが提供されていることがうかがえる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： コロナ禍の長期化により外出の機会が大きく減少し、利用者の重度化も進んだことで、社会参加の場がこれまで以上に限られてきている。また、外出先での食事形態やトイレ環境への配慮が必要な利用者が増え、従来の外出支援が難しくなっている現状にある。そのような状況下にあっても、利用者が少しでも外の世界とつながり、楽しみを持てるよう工夫を重ねており、今後とも社会参加の機会を広げていく取り組みの継続に期待したい。</p>	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
<p>A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	a b c
<p>良い点／工夫されている点： 地域移行に関して、園では利用者や家族の意向を丁寧に確認し、関係機関と連携しながら手続きを進められる体制を整えている。昨年度には、グループホームへの移行を漠然と希望した利用者に対し、複数の候補施設を提示し、費用面も含めて分かりやすく説明するなど、本人の思いに寄り添いながら希望の実現に向けた支援を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： グループホームへの移行を希望した利用者に対しては、複数の候補施設を提示し、費用面も含めて分かりやすく説明する等、本人の思いに寄り添った丁寧な支援を行っている。しかし、経済的な理由等から移行には至らず、近年は実際の移行者がいない状況である。今後は高齢化や重度化の進行により地域移行のハードルがさらに高まることが想定されるが、今後とも、利用者の希望や意向を大切にしながら、生活費や利用料など金銭面も含めた情報提供を続け、地域での暮らしにつながる支援に引き続き取り組まれることに期待したい。</p>	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
<p>A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	a b c
<p>良い点／工夫されている点： 家族との連携については、年3回の園だよりに加え、2か月に1度の電話連絡や写真付きの手紙で近況を丁寧に共有しており、家族からも感謝の声が寄せられる等、良好な交流が続いている。面会が再開されてからは、外出を伴う家族交流の姿も見られ、体調不良時の通院には職員が付き添い、家族へ状況を報告する等、安心して過ごせる支援体制が整っている。また、利用者・家族双方の高齢化により</p>	

帰省の機会は減っているものの、お盆や正月の希望には可能な限り対応するとともに、写真や園だよりの送付を通じて、家族とのつながりを大切にしながら関係を継続している。

改善できる点／改善方法：

A-3 発達支援

A-3-（1） 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3-（1）-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点：非該当項目	
改善できる点／改善方法：	

A-4 就労支援

A-4-（1） 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-（1）-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点：非該当項目	
改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-（1）-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点：非該当項目	
改善できる点／改善方法：	
A⑲ A-4-（1）-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点：非該当項目	
改善できる点／改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-（1） 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A⑳ A-5-（1）-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	○a・b・c

良い点／工夫されている点：

年3回程度の外部講師による研修に加え、月1回以上の園内研修を計画的に実施し、職員の経験や習熟度に応じた学びの機会をしっかりと確保している。参加が難しい職員のために研修を録画し、後日視聴できるようにする等、誰もが学び続けられる環境づくりにも工夫が見られる。また、外部研修への参加も積極的に促し、復命研修として園内で共有することで、組織全体のスキル向上につなげている。さらに利用者理解を深める実践的な研修も取り入れ、日々の支援に活かせる援助技術の向上に継続して取り組んでいる。

改善できる点／改善方法：

A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
A② A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	a・ b ・c
良い点／工夫されている点： フロアにはパソコンが設置されており、希望する利用者が家計簿作成や動画視聴等、それぞれの目的に応じて自由に活用できる環境を整えている。個人でパソコンを購入した利用者には、基本操作の説明等、無理のない範囲で丁寧に支援を行っており、利用者が自分のペースで楽しみや学びを広げられるよう配慮している。	
改善できる点／改善方法： 利用者・職員ともにITスキルに個人差があり、十分な支援が行き届かない場面もあるとのことであるが、職員が協力しながら支援方法を工夫しようとする姿勢が見られ、取り組みの広がりを感じられる。今後とも、社会生活に必要なIT技術や知識の習得に向けて、利用者が安心して学べる環境づくりに向けて、継続した取り組みに期待したい。	